

当業者の市場利用促進への取組み

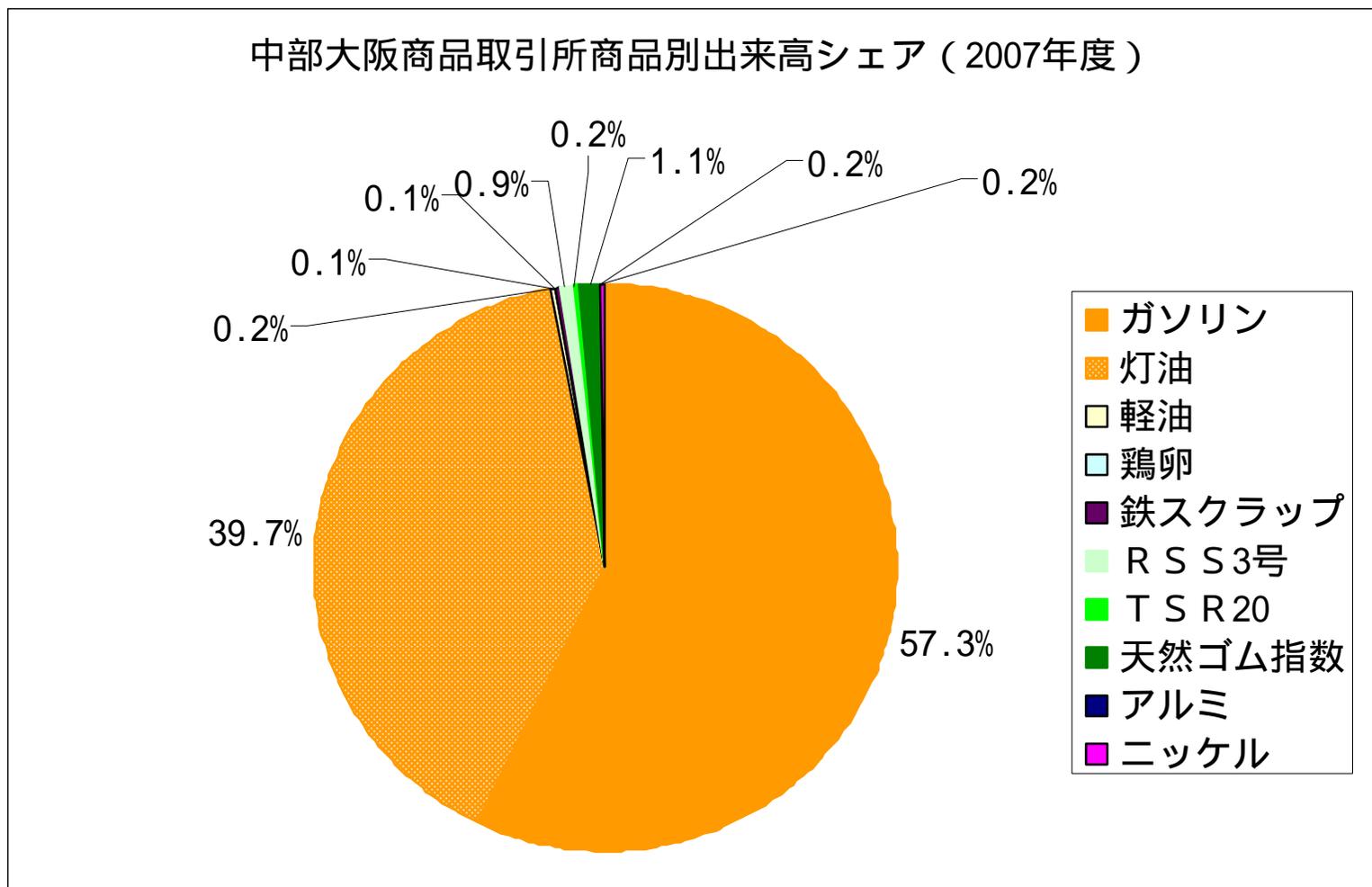
石油市場の受渡し促進の取組みを中心に

CENTRAL JAPAN COMMODITY EXCHANGE

2008年10月24日

中部大阪商品取引所

1. 中部大阪商品取引所の商品別出来高シェア(2007年度)



2. 当業者の市場利用促進のための活動

1. 石油市場 : 石油商業組合における当業者セミナー実施
2. 石油市場 : 当業者グループへの市場利用説明
3. 鶏卵市場 : 当業者団体へ啓蒙活動の展開

1. 石油市場 : 石油商業組合における当業者セミナー実施

石油商業組合の訪問 : 愛知、三重、岐阜、静岡、福井、富山、石川、新潟、長野の中部9県の各県石油商業組合を訪問
当所石油市場の活用についての啓蒙と組合員向けセミナーの実施要請等を説明(平成20年1月)

セミナーの実施

岐阜県石油商業組合: 西濃地区、東濃地区、中濃地区、飛騨地区(平成19年10月に各地区で実施)

静岡県石油商業組合: 中部地区、西部地区、東部地区(平成20年2月に各地区で実施) 天竜支部(平成20年4月に実施)

長野県石油商業組合: 経営委員会(平成20年7月実施)

大阪府石油商業組合: 21世紀会(平成20年7月実施)

愛知県石油商業組合 組合員のSS業者対象(実践石油先物市場活用セミナー)

東三河地区、西三河・知多地区、東・西尾張地区、名古屋地区(平成20年4月に各地区ごとに本所で実施)

全石連「SSビジネス見本市(富山総会)」出展

2. 石油市場 : 当業者グループへの市場利用説明

- ・ 独立系SS当業者グループへグループ単位への本所石油市場の利用説明を実施
現物仕入れの有効なツールとして更なる活用を促すための活動を、当業者グループ総会等を通じて展開
- ・ SS支援会社における定例会議を通じて当所を通じた現物仕入れの有効性について説明

3. 鶏卵市場 : 当業者組合への啓蒙活動の展開

当業者に対する啓蒙を展開 日本卵業協会・全国たまご商業協同組合等の総会にて、鶏卵先物市場活用の資料配付

がんばれSS! 応援作戦

第三の仕入れルート、こんな価格を待っていた

< 作戦その 1 > 各県石油商業協同組合への訪問活動

当所での「受渡しを活用した仕入れ」をPRするために、各県石油商業協同組合を訪問するとともに、必要であれば説明会等を実施することを案内しています。

< 作戦その 2 > 独立系SSへの訪問活動

当所を仕入れに利用する独立系SSへの訪問、その団体の総会参加等を通じて、独立系SSの当所利用促進を図っています。

< 作戦その 3 > 石油業界展示会への出展

「愛知石商SSビジネス見本市」、「全国石商SSビジネス見本市」等の石油業界展示会に出展して、広く当所をPRしています。

< 作戦その 4 > イラストパンフレットの製作

石油関連業者に、「当所での仕入れ、販売」を分かり易くイメージできるよう漫画を用いたイラストパンフレットを製作し配付しています。

< 作戦その 5 > イメージポスターの製作

「全日本きものの女王2005」に輝いた女性達(当所大発会にも列席)をモデルとして、ポスター等を製作し当所の取組みをPRしています。

< 作戦その 6 > 「受渡し空白県ゼロ運動」の展開

受渡し空白県ゼロを目指して、全国での受渡実績を積み上げていきます。

< 作戦その 7 > 石油市場会員加入条件の緩和!!

当所会員として石油関連業者が加入し易いように、会員加入金について1/10の軽減措置を設けています。

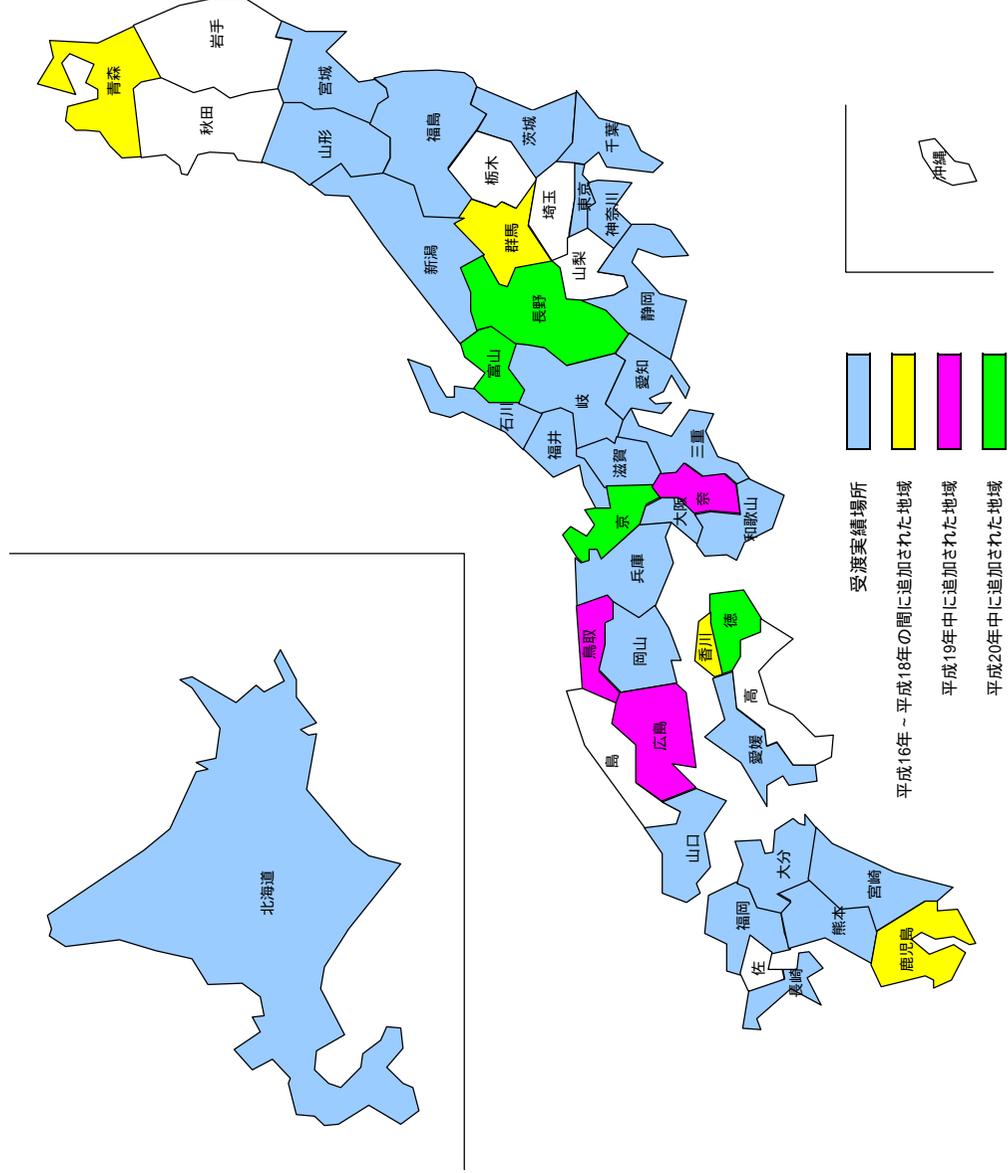
< 作戦その 8 > 石油市場の納会日の変更

平成20年2月限の納会日から、当業者の利便性を考慮し東京工業品取引所石油先物市場と同じ毎月25日に変更。

都道府県別受渡実績(中部大阪商品取引所)

平成20年11月現在(平成20年11月限の受渡分含む)

都道府県別の中部大阪石油市場の受渡利用状況
(平成12年5月から平成20年11月までに受渡利用された地域:38ヶ所)



ガソリン

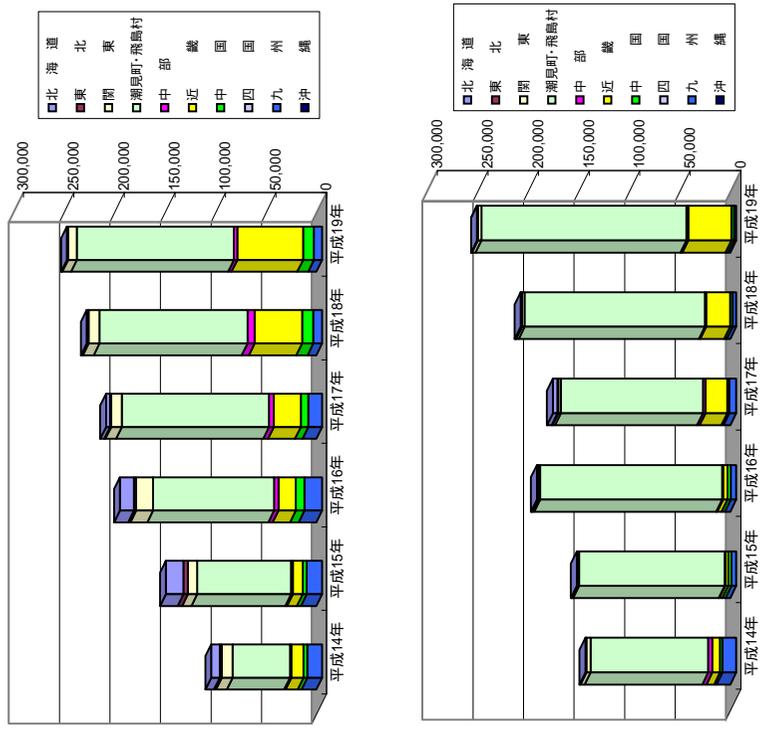
地域別	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
北海道	8,300	17,220	13,940	4,000	1,180	490
東北	2,100	4,520	2,200	1,100	800	630
関東	10,640	9,140	16,720	10,620	10,760	8,760
瀬見町・飛島村	56,720	92,840	119,620	145,600	146,260	155,390
中部	1,420	1,760	4,260	4,720	7,080	3,190
近畿	12,000	9,800	17,200	26,600	46,940	65,080
中国	3,740	3,900	8,500	7,420	11,160	10,750
四国	0	0	0	0	60	0
九州	14,880	15,500	17,740	13,920	8,820	8,340
沖縄	0	0	0	0	0	0
合計	109,800	154,680	200,180	213,980	233,060	252,630

平成19年6月限から受渡単位を10kℓに変更(平成19年5月限まで20kℓ)

灯油

地域別	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
北海道	400	600	640	4,700	1,220	130
東北	400	580	380	720	140	710
関東	4,280	1,100	1,880	2,620	2,700	3,380
瀬見町・飛島	116,280	143,940	180,180	140,440	178,320	202,820
中部	4,100	560	1,000	2,500	1,260	1,730
近畿	7,600	2,800	4,380	21,600	23,720	42,740
中国	2,220	3,120	3,060	1,960	2,500	2,530
四国	0	0	0	0	0	0
九州	13,880	5,040	5,560	6,980	3,580	2,360
沖縄	0	0	0	0	0	0
合計	149,160	157,740	197,080	181,520	213,440	256,400

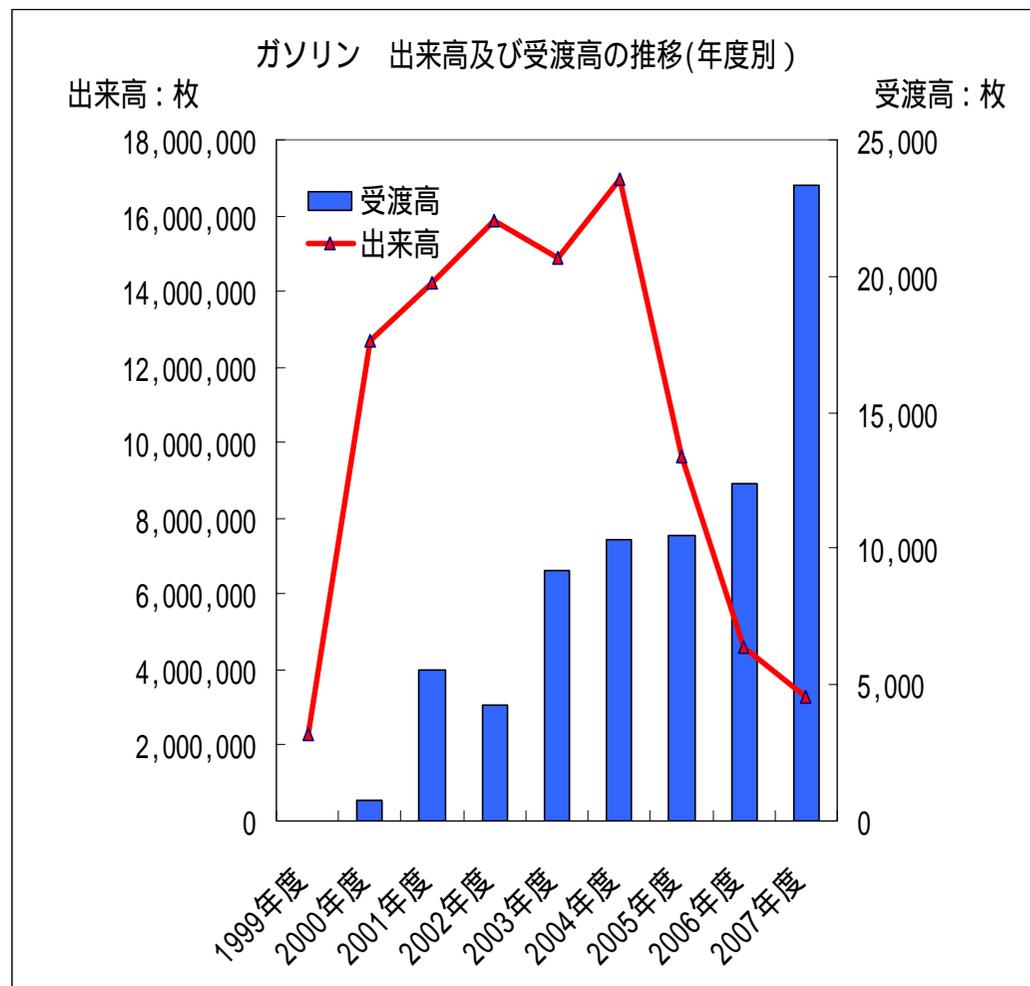
平成19年6月限から受渡単位を10kℓに変更(平成19年5月限まで20kℓ)



3. 石油商品別出来高と受渡高の推移(年度別) (ガソリン)

年度	出来高	受渡高 (枚)	受渡高 (kl)
1999年度	2,286,518	-	-
2000年度	12,686,293	755	15,100
2001年度	14,217,500	5,534	110,680
2002年度	15,886,247	4,245	84,900
2003年度	14,872,796	9,168	183,360
2004年度	16,948,240	10,341	206,820
2005年度	9,621,275	10,492	209,840
2006年度	4,598,885	12,365	247,300
2007年度	3,265,077	23,332	254,850

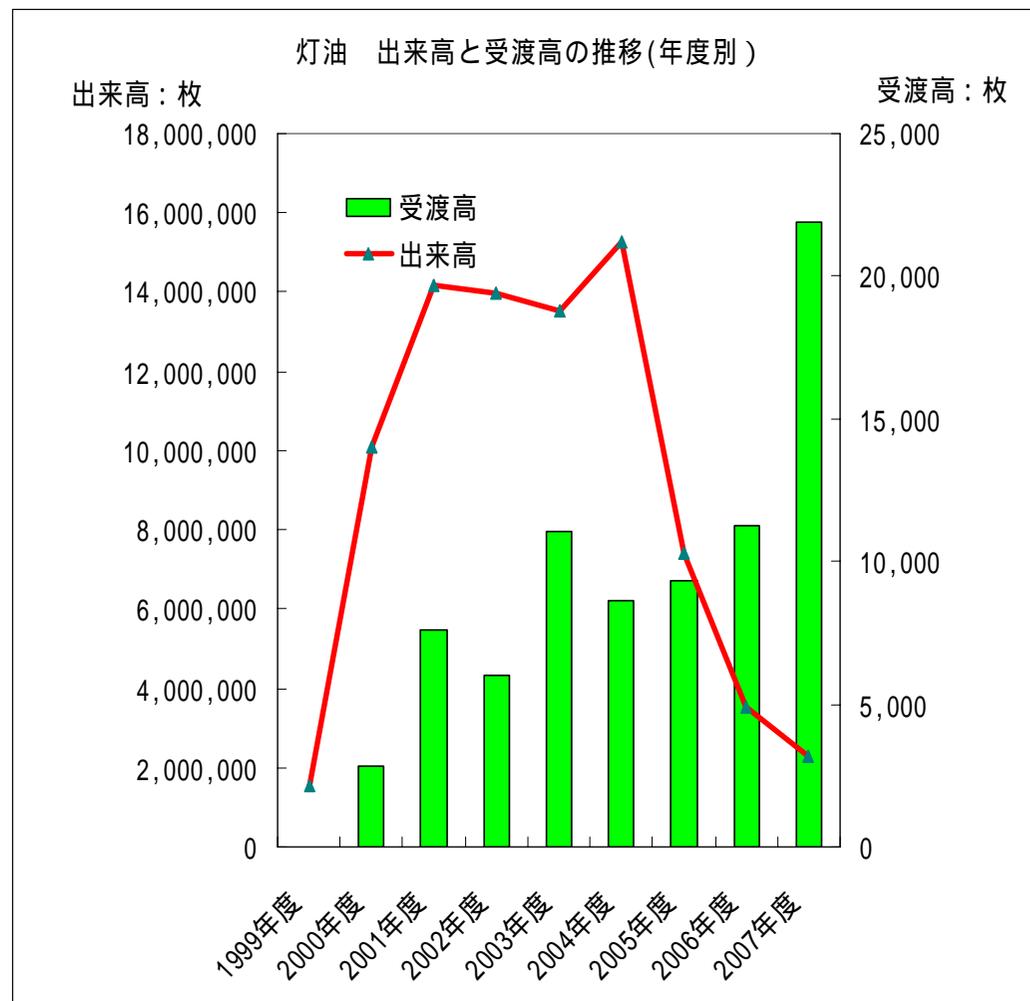
2007年6月限より
取引単位及び受渡単位
が20klから10klへ変更



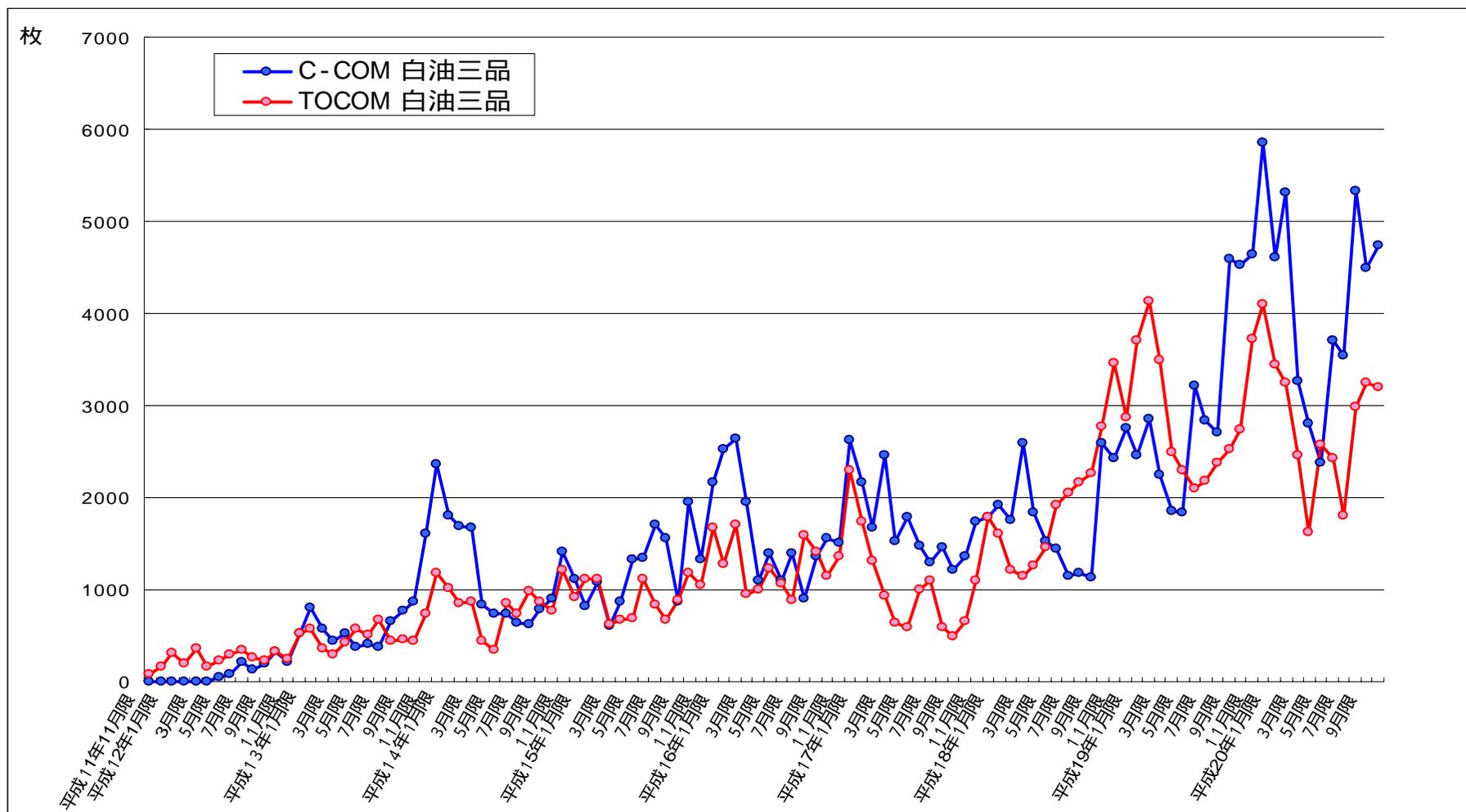
4. 石油商品別出来高と受渡高の推移(年度別) (灯油)

年度	出来高	受渡高 (枚)	受渡高 (kl)
1999年度	1,555,875	-	-
2000年度	10,075,682	2,797	55,940
2001年度	14,151,355	7,593	151,860
2002年度	13,985,681	6,040	120,800
2003年度	13,547,492	11,067	221,340
2004年度	15,285,765	8,657	173,140
2005年度	7,390,144	9,296	185,920
2006年度	3,517,590	11,268	225,360
2007年度	2,262,609	21,912	234,570

2007年6月限より
取引単位及び受渡単位
が20klから10klへ変更



5. 国内石油製品市場の受渡高推移



参考資料

中部大阪商品取引所(C-COM)の概要

参考1. 中部大阪商品取引所の概要(2008年10月24日現在)

CENTRAL JAPAN COMMODITY EXCHANGE

- 1996年10月 豊橋乾繭、名古屋穀物砂糖、名古屋繊維の3取引所合併により
中部商品取引所誕生
- 2007年 1月 大阪商品取引所と合併し中部大阪商品取引所へ

会員組織

会員 92社 市場会員 32社 (内 受託会員30社)
一般会員 60社
準会員 59社

監督官庁 : 農林水産省・経済産業省 共管
役員 : 16名(うち常勤3名)
職員 : 20名

参考2. 会員 (2008年10月24日現在)

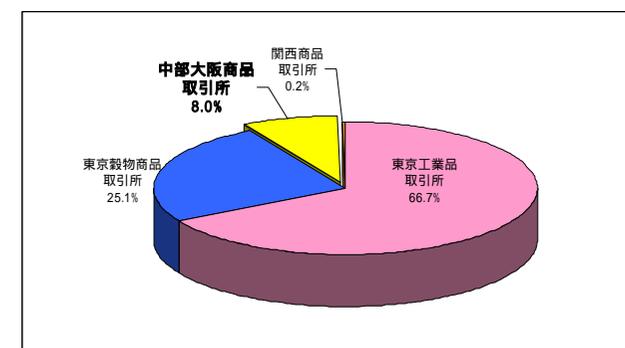
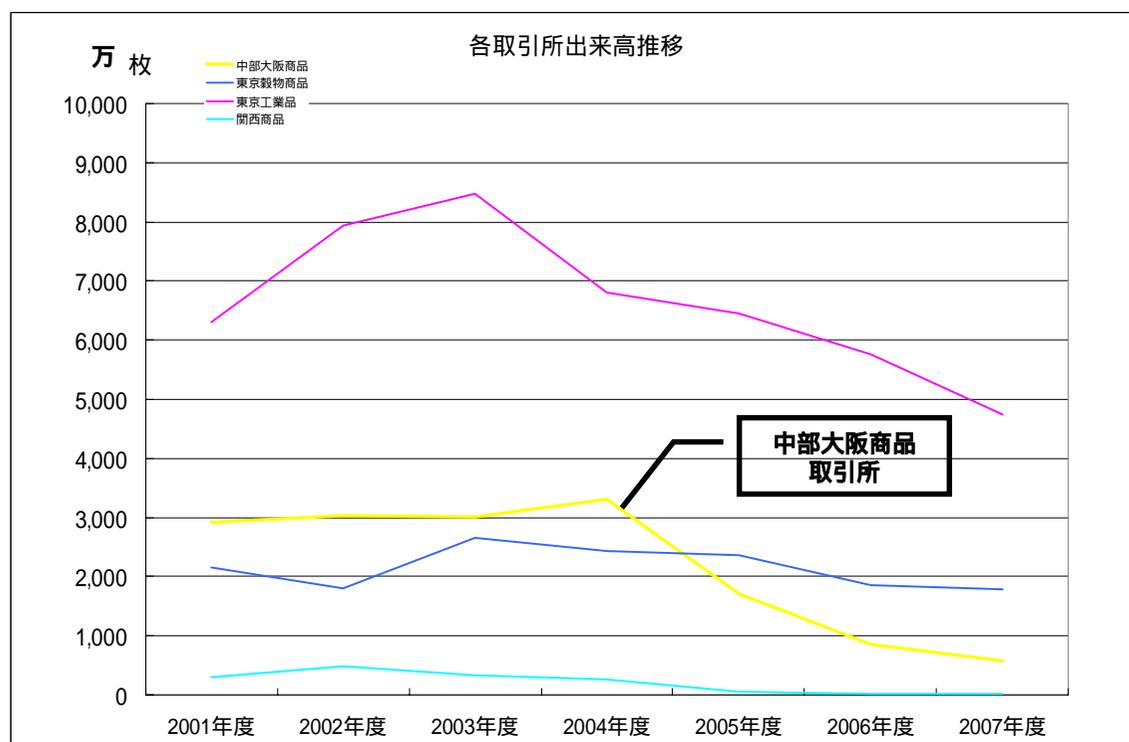
	会員数	内訳		準会員
		市場会員 (内受託会員)	一般会員	
鉄スクラップ	43社	22社(20社)	20社	5社
石油	54社	30社(28社)	24社	36社
畜産物	26社	13社(12社)	13社	4社
ゴム	26社	21社(20社)	5社	38社
天然ゴム指数	26社	22社(21社)	4社	38社
アルミニウム	24社	17社(16社)	6社	5社
ニッケル	17社	17社(16社)	0社	5社
合計(実数)	92社	32社(30社)	60社	59社

参考3. 上場商品

市場	商品	標準品	呼値	倍率
石油	ガソリン	日本工業規格 K2202の2号の品質基準に適合し、かつ硫黄分が10ppm以下のレギュラーガソリン	1kl	10倍
	灯油	日本工業規格 K2203の1号の品質基準に適合する灯油	1kl	10倍
	軽油	日本工業規格 K2204の品質基準に適合し、かつ硫黄分が10ppm以下の軽油	1kl	10倍
鉄スクラップ	鉄スクラップ	(社)日本鉄源協会の定める「鉄スクラップ検収統一規格」の基準に適合し、かつ長辺が1200mm以下の新断バラA	1t	20倍
畜産物	鶏卵	鶏卵清算価格 〔本所が日々独自に鶏卵卸売業者(荷受を含む)から調査する殻付き鶏卵Mサイズ1kgの価格を基に一定の価格算定式により算出した当該月の納会日から起算した前10営業日間の平均価格〕	-	10,000倍
ゴム	RSS3号	国際規格によるリブドスモークシート3号に該当するもの	1kg	5,000倍
	TSR20	ゴミ含有量0.20%以内、灰分含有量1.00%以内、揮発性物質含有量0.80%以内、窒素含有量0.60%以内、ウォーレス初期可塑性30以上、可塑性残留率40%以上の品質規格を満たすもの。	1kg	10,000倍
天然ゴム指数	天然ゴム指数	本所が毎営業日 午後4時30分に公表する数値	-	10,000倍
アルミニウム	アルミニウム	純度99.70%以上のもので鉄分0.20%以下、シリコンが0.10%以下のアルミニウム地金	1kg	5,000倍

参考4. 本所出来高 各取引所との比較

平成2004年度をピークに3年連続の出来高減少、2007年度はピーク時の15.7%に
2007年度の国内シェアは8.0%



取引所名	出来高	シェア	前年度比	順位
東工取	47,405,839	66.7%	82.3%	1
東穀取	17,805,305	25.1%	95.8%	2
中部大阪取	5,695,236	8.0%	65.9%	3
関西商取	164,451	0.2%	80.1%	4
合計	71,070,831	100.0%	83.5%	

注) オプションを除く。過去データは前身取引所のデータを統合。

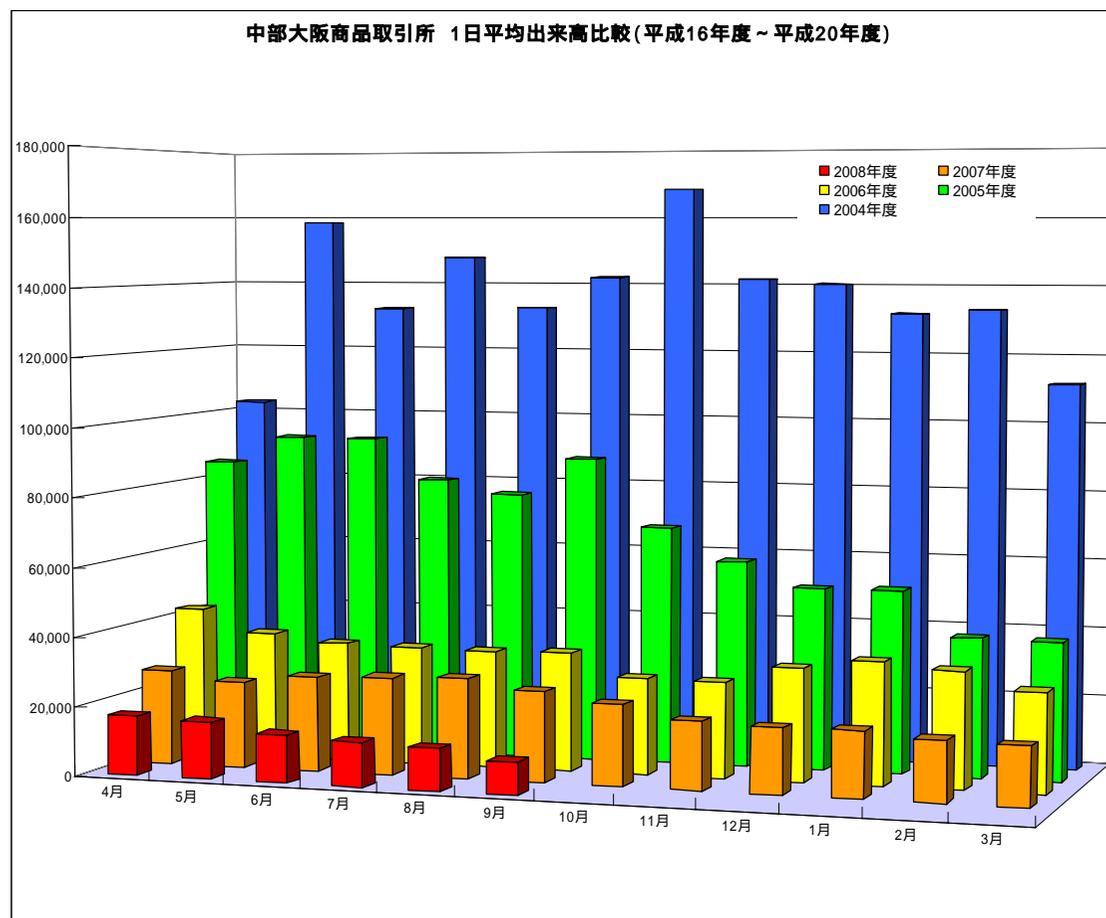
本所の1日平均出来高

1日平均出来高比較

単位:枚

年月	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
4月	102,894	85,678	43,111	27,241	17,190
5月	158,525	93,706	36,572	24,787	16,387
6月	132,228	93,618	34,540	27,187	13,685
7月	147,818	81,730	34,042	28,040	12,746
8月	132,797	78,040	33,900	28,633	12,097
9月	142,029	88,931	34,380	26,183	9,454
10月	168,239	69,162	27,630	23,408	
11月	141,753	59,962	27,702	19,656	
12月	140,350	52,923	32,740	18,839	
1月	131,843	53,132	35,248	19,080	
2月	132,999	40,295	33,537	17,567	
3月	111,903	40,018	28,655	17,030	

中部大阪商品取引所 1日平均出来高比較(平成16年度～平成20年度)



本所の商品別1日平均出来高推移

ガソリン、灯油の出来高に左右される本所出来高(2007年度は、2商品シェア:97%)

2007年度の1日平均出来高は、2004年度の1/7に激減

商品別出来高の推移

(万枚)

	ガソリン	%	灯油	%	軽油	鶏卵	鉄 スク	RSS 3号	TSR 20	ゴム 指数	アルミ	ニッケル	合計	1日 平均
2004 年度	1,695	46.6	1,529	42.1	40	51	0	67	68	58	102	24	3,635	14
2005 年度	962	52.5	739	40.3	1	3	9	55	10	27	25	1	1,834	7
2006 年度	460	53.2	352	40.7	1	1	1	25	2	16	5	1	864	4
2007 年度	327	57.3	226	39.7	1	1	1	5	1	6	1	1	570	2